



教育委員コラム

発行元
弟子屈町教育委員会
教育長 岩原 勝行
職務代理 金井 秀明
委員 菅原 誓之
委員 吉田 一徳
委員 宮田 昇子



北海道 弟子屈町
Teshikaga Town

弟子屈町教育委員会

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

『教育委員の活動』

教育委員 菅原 誓之

今回は、今一度教育委員の活動（お仕事）についてご紹介したいと思います。まず教育委員の任期は4年間で、町長より指名を受け、議会での承認を頂き任命されます。ひと月に一回は必ず定例教育委員会が開催され、必要に応じて臨時の教育委員会も開催されます。委員会の内容は様々で、学校教育の事や社会教育の事、それに伴う予算や条例、人事案件に関しての事を承認決定します。その事に踏まえて数年前より、法律の一部改正に伴い町長を交えての『総合教育会議』が義務付けられ、教育委員会として町長部局に直接要望などができる機会も増えました。



そのほか定例教育委員会の中で年間2回は移動教育委員会となり、町内各学校を巡回会場として開催されます。その際は委員会終了後、PTA役員を交えての懇談会が行われ、保護者や学校の要望を直接聞かせて頂く場を設けさせて頂いています。

次に教育委員に新たに任命された場合、「新任教育委員研修会」を受けます。その後、毎年開催される「釧路管内教育委員研修会」「全道教育委員研修会」などの研修会に参加し、管内や全道の教育委員との交流も行われます。（昨年よりコロナの影響で中止やリモートとなる）私がこの研修で一番思い出に残っているのは、平成25年に日置市との姉妹都市交流30周年を記念して、教育委員5名で鹿児島県日置市に視察訪問をさせて頂いた事です。視察場所などは「弟子屈町姉妹都市交流事業」で弟子屈町の中学生訪問団が見学するコースを実際に訪問させて頂き良い経験となりました。

このほか各学校の入学式や卒業式、運動会や文化祭。管理職（校長先生・教頭先生）などの歓送迎会。また、弟子屈町では釧路教育局長を招いて、徳永町長のご厚意により町長公宅を会場として懇談会が行われています。また、教育長や職務代理の任を受けると、会議や公務が増え忙しい日々が見受けられます。要するに「教育委員」としてご案内を頂いたものには、積極的に出席・参加させて頂く（本職が優先ですが）と言う事です。弟子屈町の子供達の教育や社会教育がより充実するように、今後も微力ながらお手伝いさせて頂きます。

次回のリレーコラムは金井委員です。



教育あっちこっち情報



「GIGAスクール事業について」

教育委員 金井 秀明

令和3年度教育行政方針の中でも述べられている「GIGAスクール事業」に付いて考えてみたい。「GIGA=Global and Innovation Gateway for All」の事で、「全ての児童、生徒のための世界につながる革新的な扉」の意味です。つまり、児童生徒向けの1人1台のコンピューターと高速ネットワークの整備です。情報端末の整備など「ICT (Information情報 and Communication伝達 Technology技術) 環境の整備」、さらにデジタル教科書など「ソフトの充実」、そしてICT指導者養成などの「指導体制の強化」の三本柱で成り立ちます。日本は令和6年には紙の教科書からデジタル教科書に移行される予定です。小学生などは重たいランドセルからの解放で良いのですが、ゲームなどを考えると一日中ブルーライトにさらされる可能性もあります。教育関係者や保護者の適切な指導がますます重要になるかと思えます。



『第57回卒業証書授与式』

教育委員 菅原 誓之

3月1日、弟子屈高校の卒業式が行われた。コロナ対策の為、来賓は町長・教育長・PTA関係者2名のみと言う事もあり、私は保護者として出席させて頂いた。

当日は、一家庭2名までの保護者と教職員に見守られ、23名の卒業生が入場して来た。入退場曲は吹奏楽部の録音。国歌や校歌も音のみで、卒業証書の授与も代表者1名が登壇して受け取った。少し寂しい卒業式だが、感染症対策の為には仕方ない。式も無事終わりその場でホームルームの時間となった。担任より一人一人に証書が手渡され、皆がその場で一言づつ感想を述べた。『今まで有り難う』や『札幌へ行く人は向こうで会いましょう』など、沢山の思いを聞かせてもらった。最後には、一輪のカーネーションと保護者へ綴った手紙が、それぞれに渡され、心が温まる式となった。



弟子屈高校という「選択」

教育委員 宮田 昇子

町が行う弟子屈高校支援策の一つ「公設民営塾」。町が民間に委託して開設した学習塾で、同校の生徒は無料で利用できます。個別指導と映像学習を組み合わせた授業が特徴で、同校との連携の下、生徒それぞれの進路実現を応援しています。

春休み期間中、弟子屈・川湯両中学生を対象とした無料体験が行われたので見学してきました。アットホームな雰囲気の中、講師の皆さんは事前カウンセリングに基づき、個々に応じた授業を展開。普段の家庭学習などについてのアドバイスも行っていました。

この塾が弟子屈高校の魅力創出の一つの後押しとなり、町内の中学生が「弟子屈高校でいい」ではなく、「弟子屈高校がいい」と感じてくれたらいいなと思います。



「コロナに負けるな弟小吹奏楽演奏会」

教育長 岩原 勝行

弟子屈小学校吹奏楽少年団の定期演奏会が2月28日に開催されました。この1年新型コロナウイルス感染症に振り回され、町内でのイベントなど吹奏楽の発表機会は皆無ではなかったでしょうか。そんな中でも地道に練習を重ね、この日の演奏会となったものです。少年団は、小野萌笑部長さんほか7名の団員で編成され、加賀谷直樹さんと木村比呂香さんの指導のもと、第1部は「踊るボンボコリン～勇気100%」など4曲を披露。第2部では、中学校の吹奏楽部と合同で3曲を披露し、最後にアンコールで「上を向いて歩こう」を演奏し、大きな拍手が送られていました。コロナに負けないという力強い意志が感じられた素晴らしい演奏会でした。



珍客？

教育委員 吉田一徳

先日トラクターの準備をしていると、倉庫の奥に見慣れぬ影が。

上に登って確かめてみるとハイタカでした。たまにスズメを追う姿は見るものの、じっくり観察できたのは初めてで、なんと凛々しい顔か。

まだこの時期は塘路あたりではオオワシやオジロワシ、稀にケアシノスリの姿も見ることができます。

いつかは南米のオウギワシ(世界最大)を見てみたい私でした。



★ ★ 編集後記 ★ ★

本号も第29号となり、平成23年の発刊依頼10年目に入る事となりました。コロナの影響で様々な行事が中止となる中、各委員もあっちこっち情報を必死に集めています(汗)。

温かな眼差しで、御一読頂ければ幸いです。
(菅原)